
令和 8 年度 GX新技術等に係る危険物規制に関する検討会 (第 1 回)

令和 8 年 6 月 2 9 日
総 務 省 消 防 庁
危 険 物 保 安 室

検討の背景

2050年までのカーボンニュートラル実現に向け、バイオエタノールなど様々なクリーンエネルギー関連のGX新技術の実用化が進められてきているところ、バイオエタノールを貯蔵・取り扱う危険物施設の消火設備については、現状、PFASを含有した消火薬剤を使用することが求められていることから、PFAS非含有の泡消火薬剤の導入に向けた調査・検討を実施する必要がある。

また、令和8年5月に開催された規制改革推進会議において、次世代AIデータセンターに設置するリチウムイオン蓄電池に関して、国際的な基準と消防庁が発出している通知上の取扱いとで整合性を図るべき等の要望が寄せられている。

令和8年度検討項目

- 1 危険物施設における泡消火設備の技術基準の見直しについて
- 2 データセンターにおけるリチウムイオン蓄電池設備に係る消防法令上の取扱いについて
- 3 その他GX新技術に係る危険物規制に関する事項について